



2020年4月28日

各位

会社名 住友ベークライト株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤原 一彦
(コード番号 4203 東証第1部)
問合せ先 総務本部 コーポレート・コミュニケーション部長 白本 勝久
(TEL 03-5462-4165)

業績予想の修正および減損損失の計上に関するお知らせ

直近の業績動向を踏まえ、2019年11月1日に公表した2020年3月期通期の業績予想を修正するとともに、減損損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2020年3月期通期連結業績予想の修正(2019年4月1日～2020年3月31日) (単位:百万円)

	売上収益	事業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	205,000	16,000	12,300	261.37 円 銭
今回修正予想(B)	206,600	14,300	9,200	195.50 円 銭
増減額(B-A)	1,600	△ 1,700	△ 3,100	
増減率 (%)	0.8	△ 10.6	△ 25.2	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期通期)	212,952	17,293	15,084	320.51 円 銭

(注) 「事業利益」は、「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除して算出しております。

(2) 修正の理由

半導体関連材料の売上収益は、主に自動車モーター用途向けや中国市場における5G基地局等のインフラ投資による通信・スマートフォン用途向けが第3四半期以降増加したことにより、前回発表予想を上回る見込みです。また、フィルム・シート製品についても、医薬品包装用途向けでジェネリック医薬品メーカー向け販売増により、売上収益は増加しています。

一方、利益については、世界的な自動車市場の低迷や米中通商問題の長期化、米国シェールガス・オイル産業の経営環境悪化や米国航空機メーカーの生産水準低下の影響を受け、事業利益は前回発表予想を下回る見込みとなりました。加えて、下記「2. 減損損失の計上について」に記載しております減損損失を計上することといたしましたので、連結業績予想を修正いたします。

2. 減損損失の計上について

当社の連結子会社であるVaupell Holdings, Incは、直近の事業計画に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、航空機内装部品事業の固定資産について約18億円、医療機器事業ののれんについて約3億円の減損損失を2020年3月期において「その他の費用」に計上いたします。

以上